

特集 公共施設を考える

未来につなげる公共施設



帯広市では、これまで、学校や市営住宅、道路、公園、上下水道など、多くの公共施設等を整備してきました。

今後、これらの公共施設が大規模な改修や建て替えの時期を迎えます。皆さんが普段利用している公共施設のこれからについて一緒に考えてみませんか。

問い合わせ 企画課（市庁舎5階、☎65・4105）

公共施設等

公共施設（建築物）

学校、市営住宅、
コミセン、保育所、
とかちプラザ、
体育館、市庁舎など

インフラ施設

道路、橋、公園、
農村上下水道

公営企業施設

水道、下水道

（表） 帯広市の公共施設等の現状や課題を把握するために、平成27年6月に作成した「公共施設白書」によると、公共施設（建築物）は285施設あり、総延床面積は約73・5万平方メートルになります。

公共施設等はどれくらいあるの？

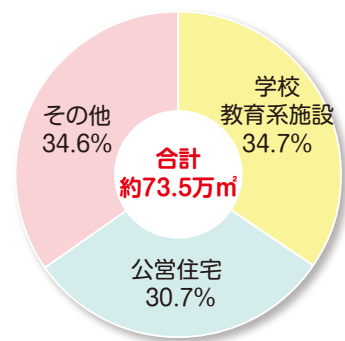
公共施設等ってなに？

私たちの周りには、生活に密着したさまざまな施設があります。学校、市営住宅、コミュニティセンターなどの建築物を「公共施設（建築物）」、道路や橋、公園などを「インフラ施設」、料金収入で運営している水道・下水道施設を「公営企業施設」とし、これらの施設を総称して「公共施設等」といいます。

表 公共施設等の内訳（平成26年3月31日現在）

| 区分 | 施設分類 | 施設数 | 延床面積(万㎡) | 割合(%) | 施設例 |
|-----------|------------------|-------|----------|-------|------------------------------|
| 公共施設（建築物） | 地域コミュニティ施設 | 51 | 2.9 | 4.0 | コミュニティセンター、福祉センター、農業センター |
| | 市民文化・社会教育系施設 | 11 | 4.3 | 5.9 | 市民文化ホール、とかちプラザ、図書館、動物園など |
| | スポーツ・レクリエーション系施設 | 28 | 6.2 | 8.5 | 体育館、帯広の森屋内スピードスケート場、岩内自然の村など |
| | 産業系施設 | 14 | 1.6 | 2.2 | 北愛国交流広場、八千代公共育成牧場など |
| | 学校教育系施設 | 42 | 25.5 | 34.7 | 小・中学校、南商業高校、給食調理場 |
| | 子育て支援施設 | 54 | 1.5 | 2.0 | 保育所、児童保育センター、児童会館 |
| | 保健・福祉・医療施設 | 7 | 1.3 | 1.8 | 保健福祉センター、休日夜間急病センターなど |
| | 公営住宅 | 22 | 22.6 | 30.7 | 市営住宅 |
| | 行政系施設 | 22 | 4.2 | 5.6 | 市役所本庁舎、支所、消防署など |
| | その他施設 | 24 | 2.4 | 3.2 | 空港、駐車場、競馬場、火葬場など |
| | 普通財産 | 10 | 1.0 | 1.4 | 市民活動プラザ六中、教職員住宅など |
| | 小計 | 285 | 73.5 | 100 | |
| | インフラ施設 | 道路、橋梁 | - | - | - |
| 公園 | | - | 0.2 | - | 開設公園214カ所、開設面積763ha |
| 簡易水道 | | - | 0.3 | - | 水道管延長326.3km、簡易水道施設4施設 |
| 農村下水道 | | - | 0.0 | - | 下水道管延長1.8km、下水道処理施設1施設 |
| 小計 | | - | 0.5 | - | |
| 公営企業施設 | 水道 | - | 1.0 | - | 水道管延長1067.2km、水道施設3施設 |
| | 下水道 | - | 1.8 | - | 下水道管延長1200.1km、下水道処理施設1施設 |
| | 小計 | - | 2.8 | - | |
| 合計 | 285 | 76.8 | - | | |

図 公共施設（建築物）の分類別内訳（延床面積）



（図） 施設分類別では、学校教育系施設が約35パーセント、公営住宅が約31パーセントを占めています。

今、公共施設等が大きな課題を抱えています。今後、これらの公共施設等が大規模改修や建て替えの時期を迎え、市の財政運営の大きな負担となることが懸念されています。また、人口構成の変化やライフスタイルの多様化などにより、公共施設等に対する市民ニーズも変化しています。今号では、公共施設等の現状や課題を市民の皆さんと共有し、公共施設等のこれからを考えます。

Public Information OBIHIRO

おびひろ

平成28年 (2016年) 10

No. 1109 October

発行：帯広市
編集：政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

8月末の人口と世帯数

人口 ▶ 168,255人 (前月比-22人)
男 ▶ 80,236人
女 ▶ 88,019人
世帯 ▶ 86,535世帯 (前月比+45世帯)

8月の火災発生件数

10件 (前月比+7件)

8月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,574t (前年同月比+146t)
資源ごみ(5の日)量 669t (前年同月比+69t)

今月の紙面

2つの給付金で低所得者を支援 … 4

市の決算と財政状況 … 6

保育所・幼稚園などの入所申し込み … 8

市長と語る「夢かなうまち おびひろ」地区懇談会 … 13

表1 帯広市の築年数別の主な公共施設

| 築年数 | 主な施設 |
|----------------------|---|
| 築50年以上 (~S39) | 動物園、児童会館 |
| 築40~49年 (S40~S49) | 大空会館、総合体育館、帯広小学校、大空小学校、第八中学校、大空中学校、帯広保育所、青葉保育所、市営住宅(大空団地)、消防署(西出張所) |
| 築30~39年 (S50~S59) | 東コミセン、鉄南コミセン、光南福祉センター、西福祉センター、百年記念館、八千代公共育成牧場、東小学校、稲田小学校、第二中学校、西陵中学校、緑ヶ丘保育所、ひばり保育所、市営住宅(公園東町団地、緑央団地)、川西支所 |
| 築20~29年 (S60~H6) | 南コミセン、帯広の森コミセン、中央福祉センター、緑南福祉センター、市民文化ホール、帯広の森アイスアリーナ、帯広の森野球場、帯広の森市民農園(サラダ館)、開西小学校、明和小学校、第五中学校、緑園中学校、グリーンプラザ、保健福祉センター、市営住宅(明和団地、新緑団地)、市役所本庁舎 |
| 築10~19年 (H7~H16) | 北親福祉センター、みなみ野福祉センター、とかちプラザ、森の交流館・十勝、帯広の森市民プール、北愛国交流広場、啓西小学校、つつじが丘小学校、第一中学校、生活館、市営住宅(若葉団地)、みどりと花のセンター |
| 築10年未満 (H17~) | 栄福祉センター、きぼう福祉センター、帯広の森・はぐくむ、図書館、帯広の森屋内スピードスケート場、豊成小学校、栄小学校、豊成保育所、豊成児童保育センター、休日夜間急病センター、市営住宅(稲田団地) |

公共施設等の現状と課題

①施設の老朽化

市では、人口の増加や都市化の進展に合わせて、学校や市営住宅、文化・スポーツ施設のほか、道路、公園、上下水道など、多くの公共施設等を整備してきました。(表1)

公共施設(建築物)は、昭和40年代後半から平成10年代にかけて造られたものが多く、一般的に大規模修繕や改修が必要とされる建

築後30年以上を経過した建物は約4割を占めていて、今後20年で、その比率は約9割まで上昇するところが見込まれています。(図1)

図1 公共施設の建築年別整備状況 ※()内は、公共施設を整備した年度を記載しています。

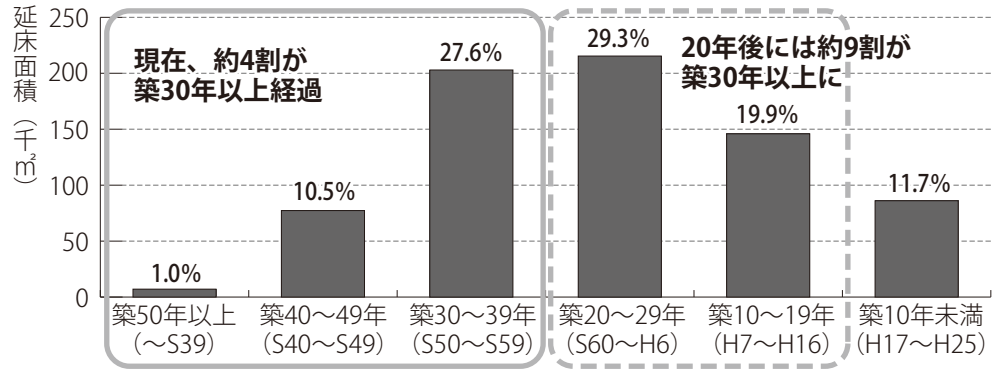


図2 直近5年間の平均投資的経費と今後40年間の平均更新費用の比較

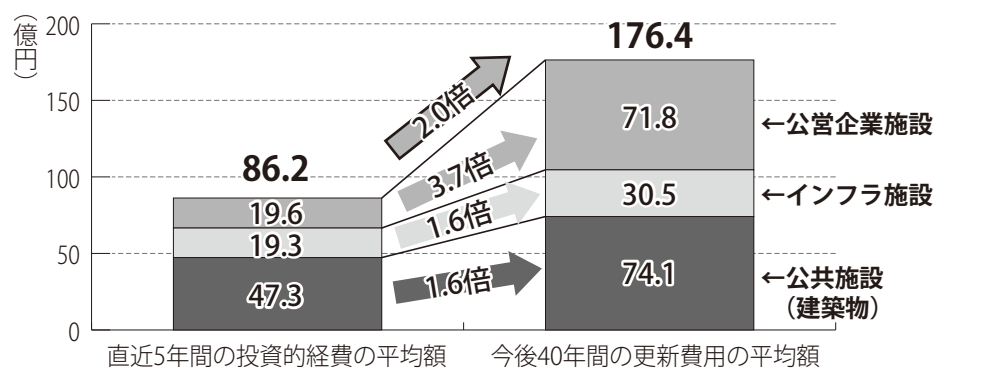


表1、図1、図2 出典：公共施設白書

図3 帯広市の人口と人口構成の推移

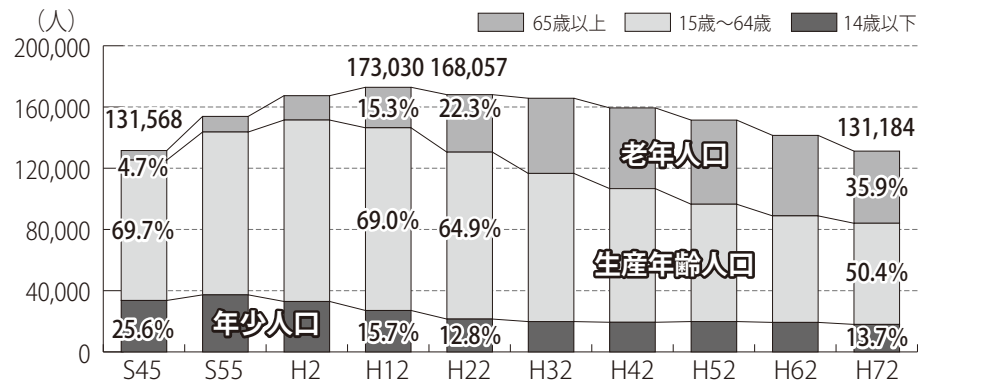
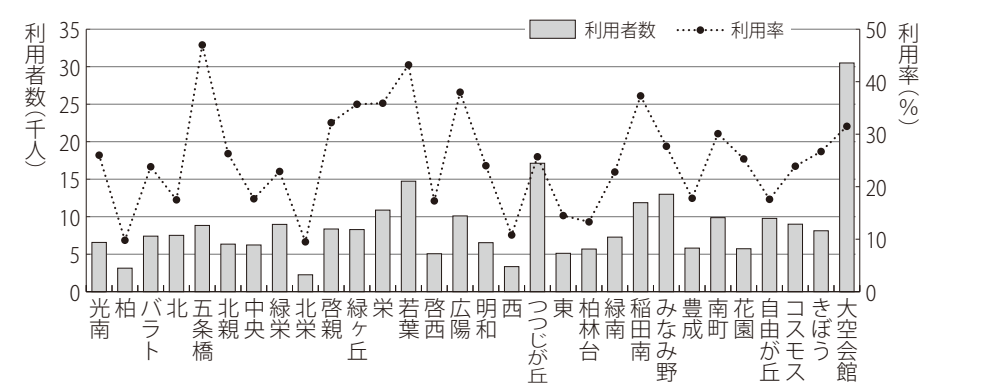


図4 福祉センターの年間利用者数と利用率



①施設の老朽化

②多額の改修・更新費用

③市民ニーズの変化

公共施設マネジメントを進めていく必要がある

公共施設等をこれまでと同じ水準で維持するのは困難

現在の公共施設等を全て保有し続けた場合を想定し、今後40年間で必要となる単年度当たりの改修・更新費用を試算したところ、

②多額の改修・更新費用

直近5年間に公共施設等の大規模改修や建て替えのために要した投資的経費の平均の2倍の金額となりました(図2)。また、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加も懸念されます。

③市民ニーズの変化

今年2月に策定した「帯広市人口ビジョン」では、帯広市の人口は、平成72年には現在よりも約2割減少し、昭和45年と同程度の13万1184人になると推計されています。(図3)

④厳しい財政状況

市の歳入は、国や道の財政が厳

今後、歳入総額の大幅な伸びが期待できない中、高齢社会の到来により、扶助費はさらに増加することが見込まれ、普通建設事業費や施設などの維持補修費に充てられる財源はより限られたものになると見込まれます。

①施設の老朽化

市では、人口の増加や都市化の進展に合わせて、学校や市営住宅、文化・スポーツ施設のほか、道路、公園、上下水道など、多くの公共施設等を整備してきました。(表1)

②多額の改修・更新費用

直近5年間に公共施設等の大規模改修や建て替えのために要した投資的経費の平均の2倍の金額となりました(図2)。また、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加も懸念されます。

③市民ニーズの変化

今後、歳入総額の大幅な伸びが期待できない中、高齢社会の到来により、扶助費はさらに増加することが見込まれ、普通建設事業費や施設などの維持補修費に充てられる財源はより限られたものになると見込まれます。

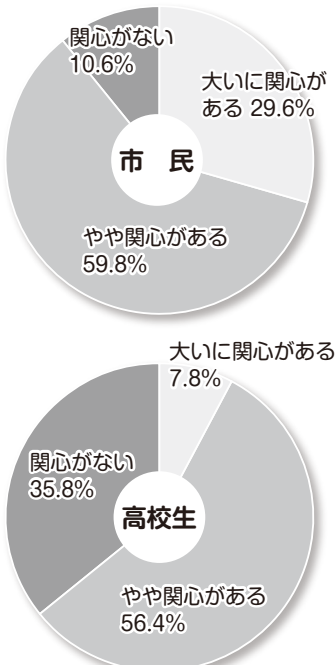
今後は、どのようなことを考えていく必要があるの？

公共施設等の現状や課題を踏まえると、公共施設等をこれまでと同じ水準で維持していくことは困難です。

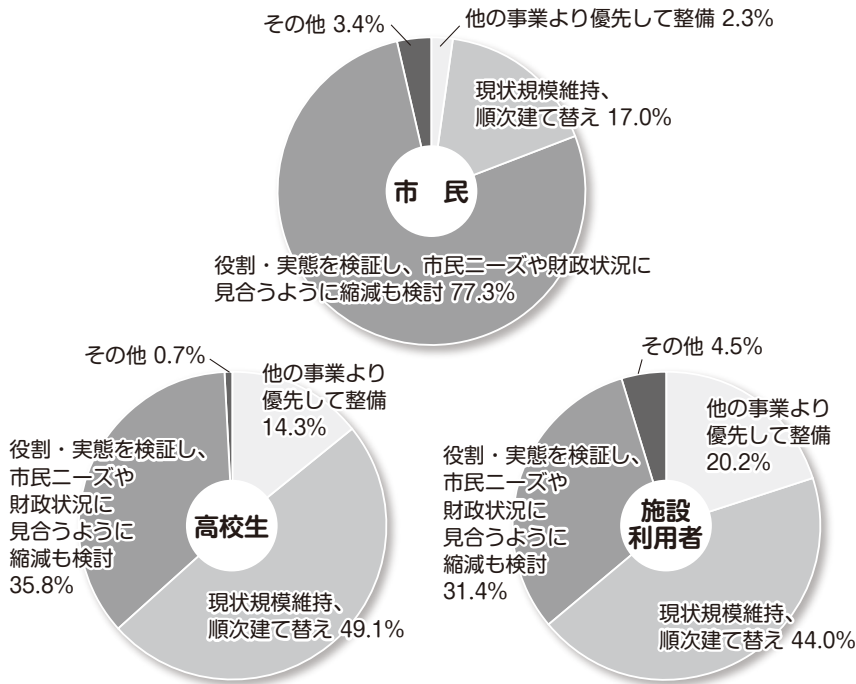
今後は、社会経済情勢の変化などに対応し、将来にわたり公共施設等のサービスを安定的・持続的に提供していくため、市民ニーズの変化や市の財政状況を考慮しながら、施設機能が効果的に発揮されるよう、公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化などに取り組む「公共施設マネジメント」を進めていく必要があります。

図5 市民・高校生・施設利用者アンケート結果

Q 公共施設を取り巻く現状や課題について関心がありますか



Q 今後、公共施設の改修、建て替えに必要な費用が増加することが見込まれていますが、これからの公共施設の整備について、どのように進めていくべきであるとお考えですか



各回答の割合(%)は、小数点第2位以下を四捨五入し、端数整理はしていない。

計画策定に向けた取り組み



市では、昨年度より、公共施設マネジメントの基本的な方針や考え方を示す「(仮称)帯広市公共施設マネジメント計画」の策定を進めています。

計画の策定にあたり、市民の意見を広く反映させるため、市民を対象としたさまざまな取り組みを行っています。詳細は市ホームページ

① 市民・高校生・施設利用者アンケート

公共施設の利用状況、今後の公共施設の在り方などについて、平成27年7月と8月に、市民、高校生、公共施設利用者を対象にアンケート調査を実施しました。

◆対象者数
・ 満18歳以上の市民(2000人)
・ 市内の高校8校(高校2年生、

合計約320人)

- ・ コミュニティセンター6施設、福祉センター4施設、児童会館、とかちプラザ、図書館、総合体育館、帯広の森市民プールの利用者(各施設約100人、合計約1500人)

◆回答数

- ・ 市民アンケート 987人(回答率49.4%)
- ・ 高校生アンケート 284人
- ・ 施設利用者アンケート 1295人

◆アンケート結果の傾向

「公共施設を取り巻く現状や課題について関心がありますか」については、「大いに関心がある」または「やや関心がある」と回答した市民は約9割、高校生は約7割となっています。(図5)

「今後、公共施設の改修、建て替えに必要な費用が増加することが見込まれていますが、これからの公共施設の整備について、どのように進めていくべきであるとお考えですか」については、市民アンケートでは、「市民ニーズや財政状況に見合うように縮減も検討」が約8割を占めた一方、高校生アンケート、施設利用者アンケートでは、「市民ニーズや財政状況に見合うように縮減も検討」よりも「現状規模維持、順次建て替え」の割合が高くなっています。

② 市民ワークショップを開催

これからの公共施設等に求められる役割、在り方などについて議論するため、平成27年10月と11月に市民ワークショップを開催しました。ワークショップでは、公共施設

に関する印象、施設を使う理由、使わない理由などを議論した後、各グループで選択した生活圏における公共施設の必要性・課題を踏まえ、その課題解決策について議論を行いました。

③ 市民意見交換会を開催

計画の策定に向け、施設類型ごとの取り組みの考え方などについて意見をもらうため、今年6月と7月に一般市民向け(計4回)と、公共施設の管理・運営などに携わる関係者向け(1回)の意見交換会を実施しました。



市民意見交換会の様子

意見交換会での主な意見

- ・ 人口の増加が見込めず、財政の制約がある中では、今後、機能の集約化や施設の複合化は必要
- ・ 機能の集約化や施設の複合化にあたっては、管理体制の明確化や、施設が遠くなる市民への交通手段なども合わせて考えるべき。

公共施設等の有効活用に向けた取り組みや、施設を利用しやすいような環境の整備が必要。公共施設の現状や将来の方向性について、市民の理解が得られるよう、しっかりと取り組みを進めていくべき。大規模改修や建て替えなどのコストを抑えるためには、

予防保全を行うことが必要。

④ 市民検討委員会の設置

公共施設等の在り方について、幅広い視点から検討を行うため、学識経験者や公募による市民など12人で構成する市民検討委員会を平成27年7月に設置しました。平成27年度は計6回、平成28年度はこれまで3回開催し、計画策定に向けた議論を行っています。

公共施設マネジメントの基本的な視点



今年2月に策定した計画の骨子で、公共施設マネジメント推進にあたっての3つの基本的な視点を定めました。

現在、計画の策定に向け、この3つの視点を踏まえた基本方針や、

施設類型ごとの考え方などについて検討作業を進めています。(表2)

市民とともに未来につなげる公共施設



公共施設等は、市民生活に必要なサービスを提供する拠点であり、市民生活や経済活動を支える基盤です。施設の建て替えなどにあたっては、利用者や市民の皆さんの意見を踏まえながら検討を行っていきます。

今年12月をめどに、計画案に対する市民の意見を聴くパブリックコメントを実施する予定です。公共施設等の現状や課題について一人ひとりが問題意識を持ち、未来につなげる公共施設の在り方を一緒に考えていきましょう。

表2 公共施設マネジメントの基本的な視点

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>視点1 交流を育む</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティの活性化 子どもから高齢者までのさまざまな世代が集い、多様な関わりを育む場を創出する地域コミュニティの形成に寄与する公共施設マネジメントを進めていく。 ○時代に適したサービス提供 時代背景や人口構成の変化に伴う市民ニーズの多様化などにより、公共施設に求められる役割やニーズは変化していくため、施設の設置目的を踏まえつつ、ハード・ソフト両面から柔軟に対応していく。 |
| <p>視点2 未来につなげる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○保全・活用の推進 サービス水準の維持、施設の更新などに係る費用の縮減のため、できる限り施設を大切に長く使っていく。 ○効率的な管理・運営 次世代へ負担を先送りしないように維持管理費用の縮減や財源確保、効率的な施設運営を進め、公共施設に係る負担を減らしていく。 |
| <p>視点3 市民とともに創る</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○問題意識の共有と協働 公共施設マネジメントに係る情報を共有し、課題解決の場に参画できる多様な機会の充実を図っていく。 |